

平成29年度 第1学年 学年方針

1. 3年間共通の方針

大方針：自主・協同・責任（校訓）

- (1) 教養主義に立脚した、あくなき知の探求
- (2) 多様性のある集団と受容性の涵養
- (3) チャレンジ精神と主体的な行動
- (4) 粘り強く、たくましい心身

2. 1学年の方針

大方針：一高生活を「満喫」する素地を育成する

- (1) 依存型学習から自立探求型学習への転換
- (2) 自らと「異なる」ものを積極的に受け入れ、自己の成長へとつなげる
- (3) 各種の集団（クラス、部活動、委員会）に積極的に関わる
- (4) 毎日学校に来て、一高生活を「たくましく」送るための基礎作りを養う

3. 具体的な対応

大方針：学年団全員で生徒一人一人を指導する

- (1) 授業の予習・復習を徹底させ、一分一秒を無駄に「させない」緊張感のある授業を展開し、授業を通じて実力が養成されていく実感を持たせる。定期試験や実力試験の準備をしっかりとさせ、これらの校内試験を学力養成の最重要手段と捉えるよう指導していく。広く深い教養の重要性を認識し、様々な機会（SGHとの連携・学年での読書発表会・SEGなど）を捉え教科横断的なアプローチを行っていく。課題に関しては、提出の意味を考えさせ、主体性を持った学習へとつなげていく。
- (2) ホームルーム活動や各教科の学習活動全般を通じ、コミュニケーション力、他人を気遣う心の育成を図る。様々な特性を備えた生徒相互の交流は、集団の団結力を高め、それが個の成長につながることを実感させる。学年集会の場を活用し、様々な分野で活躍する生徒を評価する。また個別面談などで生徒一人一人と話す機会を多く持ち、生徒理解と信頼関係を築く柱とする。保健室や教育相談室とも連携し、多角的視点から生徒理解に努める。
- (3) 部活動や校内の諸活動（生徒会活動、常任委員会活動、一高祭実行委員、一高オリンピック実行委員、歩く会実行委員）には「集団」と「個」を大きく成長させる「仕組み」が構造化されていることを再認識し、それらへの積極的参加を促す。OBOG進路ガイダンス、企業研究所訪問、進路講演会を実施する。「ポートフォリオ」評価により、3カ年にわたる進路学習の軌跡を追うことで、自らの適性を見つけ、将来像を形作る手助けをする。
- (4) 「挨拶」「時間」「礼儀」「服装」が全ての基本と捉え、これらの基本的生活習慣を確立させる。毎日の「朝学習」を生活リズムの中に組み込ませ、主体的な参加を促すよう指導していく。通学時の安全、健康管理には十分注意するようHRで話す機会を多く取る。